

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校大阪ビジネス・アカデミー
設置者名	学校法人21世紀アカデメイア

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
ビジネス専門課程	ペットビジネス学科	夜・通信	576 時数	160 時数	
	ファッションビジネス学科	夜・通信	448 時数	160 時数	
	総合ビジネス学科	夜・通信	192 時数	160 時数	
	スポーツビジネス学科	夜・通信	192 時数	160 時数	
	フラワービジネス学科	夜・通信	320 時数	160 時数	
	IT ビジネス学科	夜・通信	192 時数	160 時数	
文化・教養専門課程	愛玩動物看護学科	夜・通信	450 時数	240 時数	
(備考) 愛玩動物看護学科は令和6年4月1日より開始					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

公式ホームページにて公表 http://www.obc.ac.jp
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校大阪ビジネス・アカデミー
設置者名	学校法人21世紀アカデメイア

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ メインページの最下段「財務情報」 「事業報告書」にて掲載 https://www.akademeia21.com/financial/

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社取締役 (H18年5月23日～現職)	R3/8/4 ~ R7/8/4	ガバナンスの強化
非常勤	大学教授 (R4年4月1日～現職)	R6/6/29～ R7/8/4	カリキュラムの強化
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校大阪ビジネス・アカデミー
設置者名	学校法人21世紀アカデメイア

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>年度開始前に、カリキュラム会議にて、学校長、学務責任者、学科担当教員および授業担当者で2年間の教育スケジュールに基づき、カリキュラムを作成し、各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当者はシラバスの作成を行い、学科担当教員、学校長の許可を得る。シラバスは学校のホームページを活用し公表を行う。</p>	
授業計画書の公表方法	http://www.obc.ac.jp
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>成績は前期、後期の終了前に、試験・課題・実技試験・出席状況・授業態度などを考慮し、授業担当者が定められた各教科の評価ポイントに基づき成績を判定する。判定結果は授業担当者の評価を学科担当教員が確認を行い最後に学校長が確認した上で単位の認定を行う。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績は5段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席50%以上) E=不可(出席50%未満) ・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換：A=3 B=2 C=1 D=0 E=0 ・前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。 	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	http://www.obc.ac.jp
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。卒業規定として学則に定める履修時間(卒業時1920時数)を履修しており、単位108単位以上を取得している事、及び学費を全納していること。学生、保護者へは入学時オリエンテーション及びホームページで公表している。</p>	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	http://www.obc.ac.jp

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校大阪ビジネス・アカデミー
設置者名	学校法人21世紀アカデメイア

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.akademeia21.com/financial/
収支計算書又は損益計算書	https://www.akademeia21.com/financial/
財産目録	https://www.akademeia21.com/financial/
事業報告書	https://www.akademeia21.com/financial/
監事による監査報告（書）	https://www.akademeia21.com/financial/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		ビジネス専門課程	ペットビジネス学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1920 単位時間	824 単位時間		1248 単位時間		
			2072 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
200人		167人	1人	4人	30人	34人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）年度開始前に、カリキュラム会議にて、学校長、学務責任者、学科担当教員および授業担当者で2年間の教育スケジュールに基づき、カリキュラムを作成し、各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当者はシラバスの作成を行い、学科担当教員、学校長の許可を得る。シラバスは学校のホームページで公表を行う。
成績評価の基準・方法
（概要）授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。また GPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。 ・成績は5段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席 50%以上) E=不可(出席 50%未満) ・GPA 評価制度により客観的に評価を行う。 G ポイント変換： A=3 B=2 C=1 D=0 E=0 算出：(教科の GPA 評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数) ・前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
卒業・進級の認定基準
（概要）卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。 ・卒業規定として学則に定める履修時間（卒業時 1920 時数）を履修しており、単位 108 単位以上を取得している事、及び学費を全納している事。 学生、保護者へは入学時オリエンテーション及びホームページで公表している。
学修支援等
（概要）①授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。②定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。③姉妹校と共同で、多彩な授業を展開する EXTENSION 講座を実施。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
71人 (100%)	0人 (0%)	51人 (71.8%)	20人 (28.2%)
（主な就職、業界等） トリミングサロン、ペットショップ、動物病院			
（就職指導内容） インターンシップ実施、面接指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） 愛玩動物飼養管理士（1年次：2級、2年次：1級） 2023年度合格率 1級：50.0% 2級：40.8%			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
170人	17人	10%
（中途退学の主な理由） 学校生活不適應、健康面、学習意欲低下		
（中退防止・中退者支援のための取組） 臨床発達心理士カウンセラーによる心のケア、悩みの相談窓口を設けている。 教員全体でのチーム制により日々の学生状況の把握及び保護者との連携。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		ビジネス専門課程	ファッションビジネス学科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1920 単位時間	1216 単位時間	608 単位時間	96 単位時間		
			1920 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		9人	1人	3人	7人	10人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 年度開始前に、カリキュラム会議にて、学校長、学務責任者、学科担当教員および授業担当者で2年間の教育スケジュールに基づき、カリキュラムを作成し、各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当者はシラバスの作成を行い、学科担当教員、学校長の許可を得る。シラバスは学校のホームページで公表を行う。
成績評価の基準・方法
(概要) 授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。また GPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。 ・成績は5段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席 50%以上) E=不可(出席 50%未満) ・GPA 評価制度により客観的に評価を行う。 G ポイント変換: A=3 B=2 C=1 D=0 E=0 算出:(教科の GPA 評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数) ・前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
卒業・進級の認定基準
(概要) 卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。 ・卒業規定として学則に定める履修時間(卒業時 1920 時数)を履修しており、単位 108 単位以上を取得している事、及び学費を全納している事。 学生、保護者へは入学時オリエンテーション及びホームページで公表している。
学修支援等
(概要) ①授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。②定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。③姉妹校と共同で、多彩な授業を展開する EXTENSION 講座を実施。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
4人 (100%)	0人 (0%)	3人 (75.0%)	1人 (25.0%)
（主な就職、業界等） アパレル、セレクトショップ、ブランド買取り事業、ジーンズメーカー			
（就職指導内容） 応募書類作成支援、面接指導、グループ校合同の就職イベント開催			
（主な学修成果（資格・検定等）） ・フォーマルスペシャリスト検定準2級 合格率57.1% ・サービス接遇実務検定試験2級 合格率100%、3級 合格率58.3%			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
16人	6人	37.5%
（中途退学の主な理由） 精神的な理由、学習意欲の低下		
（中退防止・中退者支援のための取組） 臨床発達心理士カウンセラーによる心のケア、悩みの相談窓口を設けている。 教員全体でのチーム制により日々の学生状況の把握及び保護者との連携。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		ビジネス専門課程	総合ビジネス学科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1920 単位時間	704 単位時間	832 単位時間	384 単位時間		
			1920 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90人		45人	16人	3人	7人	10人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 年度開始前に、カリキュラム会議にて、学校長、学務責任者、学科担当教員および授業担当者で2年間の教育スケジュールに基づき、カリキュラムを作成し、各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当者はシラバスの作成を行い、学科担当教員、学校長の許可を得る。シラバスは学校のホームページで公表を行う。
成績評価の基準・方法
(概要) 授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。また GPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。 ・成績は5段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席50%以上) E=不可(出席50%未満) ・GPA 評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換: A=3 B=2 C=1 D=0 E=0 算出:(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数) ・前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
卒業・進級の認定基準
(概要) 卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。 ・卒業規定として学則に定める履修時間(卒業時1920時数)を履修しており、単位108単位以上を取得している事、及び学費を全納している事。 学生、保護者へは入学時オリエンテーション及びホームページで公表している。
学修支援等
(概要) ①授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。②定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。③姉妹校と共同で、多彩な授業を展開する EXTENSION 講座を実施。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
27人 (100%)	2人 (7.4%)	24人 (88.9%)	1人 (3.7%)
（主な就職、業界等） 小売（スーパー、ディスカウントストア）、自動車販売、不動産事業、派遣事業			
（就職指導内容） 応募書類作成支援、面接指導、グループ校合同の就職イベント開催			
（主な学修成果（資格・検定等）） ・ビジネス実務マナー検定3級 57.1% ・サービス接客検定3級 50% ・秘書検定3級 100%			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
47人	9人	19.1%
（中途退学の主な理由） 精神的な理由、学習意欲の低下		
（中退防止・中退者支援のための取組） 臨床発達心理士カウンセラーによる心のケア、悩みの相談窓口を設けている。 教員全体でのチーム制により日々の学生状況の把握及び保護者との連携。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		ビジネス専門課程	スポーツビジネス学科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1920 単位時間	640 単位時間	768 単位時間	512 単位時間		
			1920 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
10人		4人	0人	3人	2人	5人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）年度開始前に、カリキュラム会議にて、学校長、学務責任者、学科担当教員および授業担当者で2年間の教育スケジュールに基づき、カリキュラムを作成し、各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当者はシラバスの作成を行い、学科担当教員、学校長の許可を得る。シラバスは学校のホームページで公表を行う。
成績評価の基準・方法
（概要）授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。また GPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。 ・成績は5段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席 50%以上) E=不可(出席 50%未満) ・GPA 評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換： A=3 B=2 C=1 D=0 E=0 算出：(教科の GPA 評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数) ・前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
卒業・進級の認定基準
（概要）卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。 ・卒業規定として学則に定める履修時間（卒業時 1920 時数）を履修しており、単位 108 単位以上を取得している事、及び学費を全納している事。 学生、保護者へは入学時オリエンテーション及びホームページで公表している。
学修支援等
（概要）①授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。②定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。③姉妹校と共同で、多彩な授業を展開する EXTENSION 講座を実施。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
3人 (100%)	0人 (0%)	3人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） スポーツ関連用品、スポーツジム運営、スポーツジム運営			
（就職指導内容） 応募書類作成支援、面接指導、グループ校合同の就職イベント開催			
（主な学修成果（資格・検定等）） ・ビジネス実務マナー検定3級 25% ・サービス接客検定3級 75%			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
7人	0人	0%
（中途退学の主な理由） 精神的な理由、学習意欲の低下		
（中退防止・中退者支援のための取組） 臨床発達心理士カウンセラーによる心のケア、悩みの相談窓口を設けている。 教員全体でのチーム制により日々の学生状況の把握及び保護者との連携。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	ビジネス専門課程	フラワービジネス学科	○				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1920 単位時間	832 単位時間		1088 単位時間		
			1920 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
60人	41人	0人	3人	3人	6人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）年度開始前に、カリキュラム会議にて、学校長、学務責任者、学科担当教員および授業担当者で2年間の教育スケジュールに基づき、カリキュラムを作成し、各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当者はシラバスの作成を行い、学科担当教員、学校長の許可を得る。シラバスは学校のホームページで公表を行う。
成績評価の基準・方法
（概要）授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。また GPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。 ・成績は5段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席 50%以上) E=不可(出席 50%未満) ・GPA 評価制度により客観的に評価を行う。 G ポイント変換： A=3 B=2 C=1 D=0 E=0 算出：(教科の GPA 評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数) ・前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
卒業・進級の認定基準
（概要）卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。 ・卒業規定として学則に定める履修時間（卒業時 1920 時数）を履修しており、単位 108 単位以上を取得している事、及び学費を全納している事。 学生、保護者へは入学時オリエンテーション及びホームページで公表している。
学修支援等
（概要）①授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。②定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。③姉妹校と共同で、多彩な授業を展開する EXTENSION 講座を実施。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
16人 (100%)	0人 (0%)	14人 (87.5%)	2人 (12.5%)
(主な就職、業界等) ・フラワーショップ、ブライダル事業、空間装飾事業			
(就職指導内容) ・応募書類作成支援、面接指導、グループ校合同の就職イベント開催			
(主な学修成果（資格・検定等）) ・2級フラワーデザイナー 合格率100% ・3級フラワーデザイナー 合格率100%			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
36人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 臨床発達心理士カウンセラーによる心のケア、悩みの相談窓口を設けている。 教員全体でのチーム制により日々の学生状況の把握及び保護者との連携。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		ビジネス専門課程	IT ビジネス学科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1920 単位時間	896 単位時間	192 単位時間	832 単位時間		
			1920 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40 人		14 人	1 人	3 人	3 人	6 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 年度開始前に、カリキュラム会議にて、学校長、学務責任者、学科担当教員および授業担当者で2年間の教育スケジュールに基づき、カリキュラムを作成し、各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当者はシラバスの作成を行い、学科担当教員、学校長の許可を得る。シラバスは学校のホームページで公表を行う。
成績評価の基準・方法
(概要) 授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。また GPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。 ・成績は5段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席 50%以上) E=不可(出席 50%未満) ・GPA 評価制度により客観的に評価を行う。 G ポイント変換: A=3 B=2 C=1 D=0 E=0 算出:(教科の GPA 評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数) ・前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
卒業・進級の認定基準
(概要) 卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。 ・卒業規定として学則に定める履修時間(卒業時 1920 時数)を履修しており、単位 108 単位以上を取得している事、及び学費を全納している事。 学生、保護者へは入学時オリエンテーション及びホームページで公表している。
学修支援等
(概要) ①授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。②定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。③姉妹校と共同で、多彩な授業を展開する EXTENSION 講座を実施。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
2人 (100%)	0人 (0%)	2人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） エンターテイメント事業、人材派遣事業			
（就職指導内容） 応募書類作成支援、面接指導、グループ校合同の就職イベント開催			
（主な学修成果（資格・検定等）） ・サービス接客検定3級 ・日商PC検定Excel BASIC級他			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
14人	2人	14.3%
（中途退学の主な理由） 精神的な理由、学習意欲の低下		
（中退防止・中退者支援のための取組） 臨床発達心理士カウンセラーによる心のケア、悩みの相談窓口を設けている。 教員全体でのチーム制により日々の学生状況の把握及び保護者との連携。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養課程		文化・教養専門課程	愛玩動物看護学科				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3000 単位時間	1560 単位時間	540 単位時間	900 単位時間		
			3000 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
120 人	28 人	1 人	3 人	7 人	10 人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 年度開始前に、カリキュラム会議にて、学校長、学務責任者、学科担当教員および授業担当者で 3 年間の教育スケジュールに基づき、カリキュラムを作成し、各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当者はシラバスの作成を行い、学科担当教員、学校長の許可を得る。シラバスは学校のホームページで公表を行う。
成績評価の基準・方法
(概要) 授業評価は 5 段階で評価され、単位の認定が行われる。また GPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。 ・成績は 5 段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席 50%以上) E=不可(出席 50%未満) ・GPA 評価制度により客観的に評価を行う。 G ポイント変換： A=3 B=2 C=1 D=0 E=0 算出：(教科の GPA 評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数) ・前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
卒業・進級の認定基準
(概要) 卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。 ・卒業規定として学則に定める履修時間(卒業時 1920 時数)を履修しており、単位 108 単位以上を取得している事、及び学費を全納している事。 学生、保護者へは入学時オリエンテーション及びホームページで公表している。
学修支援等
(概要) ①授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。②定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。③姉妹校と共同で、多彩な授業を展開する EXTENSION 講座を実施。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 （0%）	0人 （0%）	0人 （0%）	0人 （0%）
（主な就職、業界等） 動物病院を予定			
（就職指導内容） 応募書類作成支援、面接指導、グループ校合同の就職イベント開催			
（主な学修成果（資格・検定等）） 愛玩動物看護師 愛玩動物飼養管理士			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%
（中途退学の主な理由） 精神的な理由、学習意欲の低下		
（中退防止・中退者支援のための取組） 臨床発達心理士カウンセラーによる心のケア、悩みの相談窓口を設けている。 教員全体でのチーム制により日々の学生状況の把握及び保護者との連携。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
ペットビジネス学科	150,000 円	860,000 円	160,000 円	
ファッションビジネス学科	150,000 円	860,000 円	160,000 円	
総合ビジネス学科	150,000 円	860,000 円	160,000 円	
スポーツビジネス学科	150,000 円	860,000 円	160,000 円	
フラワービジネス学科	150,000 円	860,000 円	160,000 円	
IT ビジネス学科	150,000 円	860,000 円	160,000 円	
愛玩動物看護学科	150,000 円	860,000 円	160,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.obc.ac.jp		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
学校自己評価や日常の学校教育に対するの評価・意見内容を教育活動面と学校運営面に分別し、学務・広報・事務の三位の各部門で運営方針に照らし協議・検討する。その結果、授業内容に取り入れたり、改善・修正を要するとなった場合は、部門から責任者会議に具体的な稟議提案を上申し、最終的判断をすることによって、学校関係者評価の効果的活用を図る。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
株式会社東京ビジネス	平成 25 年 4 月 1 日～ 令和 6 年 3 月 31 日 (4 年) (任期終了)	企業等委員
エイチエスエス合同会社	令和 6 年 4 月 1 日～ 令和 10 年 3 月 31 日 (4 年) (新規就任)	企業等委員

イオンリテール株式会社	平成 28 年年 4 月 1 日～ 令和 10 年 3 月 31 日 (4 年) (任期更新)	企業等委員
株式会社ジャヴァコーポレーション	平成 28 年年 4 月 1 日～ 令和 10 年 3 月 31 日 (4 年) (任期更新)	企業等委員
株式会社玉屋	平成 28 年年 4 月 1 日～ 令和 10 年 3 月 31 日 (4 年) (任期更新)	企業等委員
株式会社 夢現社	平成 25 年年 4 月 1 日～ 令和 10 年 3 月 31 日 (4 年) (任期更新)	企業等委員
マックススポーツ株式会社	平成 28 年年 4 月 1 日～ 令和 10 年 3 月 31 日 (4 年) (任期更新)	企業等委員
有限会社 PURENESS	平成 29 年 4 月 1 日～ 令和 10 年 3 月 31 日 (4 年) (任期更新)	企業等委員
株式会社 創英	平成 25 年年 4 月 1 日～ 令和 10 年 3 月 31 日 (4 年) (任期更新)	卒業生保護者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
http://www.obc.ac.j		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.obc.ac.jp

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	H127310001085
学校名 (〇〇大学 等)	専門学校大阪ビジネス・アカデミー
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人 21世紀アカデメイア

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者 (家計急変による者を除く)		63人	56人	63人
内訳	第Ⅰ区分	40人	38人	
	第Ⅱ区分	—	—	
	第Ⅲ区分	—	—	
	第Ⅳ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者 (年間)				0人
合計 (年間)				63人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号、第4号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	人	0人	—
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	人	—	—
「警告」の区分に連続して該当	人	0人	—
計	人	—	—
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)			
年間	人	前半期	0人	後半期	—

(3) 退学又は停学(期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。)の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)	人	0人	—
GPA等が下位4分の1	人	0人	—
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	人	—	—
計	人	—	12人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。